

第 91 号
2018 年 (平成 30 年)
2 月

たけはら

市民と議会

目次	特集ページ……………	2
	提出議案などの概要 ……	4
	採決の結果……………	5
	一般質問……………	6
	常任委員会行政視察報告 ……	8
	アンケートの中間報告 ……	11

<http://www.city.takehara.lg.jp/>

特集

地域おこし協力隊の挑戦



▲地域おこし協力隊と小梨町の皆さん

特集

大川議員 川本議員が聞く

地域おこし協力隊の挑戦

今回の特集は「地域おこし協力隊の挑戦」をテーマに、協力隊のお二人と、共に活動されてきた小梨町地域の皆さんにインタビューさせていただきました。



協力隊の主な活動内容をお教えください。

愛 私たちは、竹原市地域おこし協力隊として産業振興課に所属し、小梨町に住みながら魅力と活気あるまちづくりに向け活動しています。

小梨町では、農業振興支援として農事組合法人「サンファームおなし」で稲作などのお手伝いをさせて頂いたり、おなし名水活性化協議会に参加し、看板作成の補助・紙芝居等のPRグッズの作成等に携わりました。また、ホタル祭りなどの地域行事にも参加させて頂いています。

それから、タケノコやブドウなどを使用した特産品開発事業や、漁業関係者の方と一緒に稚魚の放流にも参加させて頂きました。



活動で印象に残っているエピソードや苦労はありますか。

その他、ふるさと納税返礼品業務や鳥獣害対策・森づくりセミナーに参加など、様々な活動に携わっています。

愛 隊員として2年10ヶ月経ちますが、何もかもが初めての事や知らない事ばかりで、地域の皆さんに「から教えていただき、また野菜や惣菜等の差し入れがあったりと、暖かい目で見守っていただいている感謝しています。また、ハプニングとして作業中に望がハチに刺されて病院に駆け込んだこともありました。

望 野菜ソムリエの資格を活かし、

地域おこし協力隊



酒井 愛さん(33) 協力隊3年目 趣味：カメラ・手芸



酒井 望さん(29) 協力隊3年目 趣味：ミュージカル鑑賞



「サンファームおなし」と協力隊の関わりはどのようでしたか。 地域の方はとても経験や知識が豊富でたくさん学ばせてもらって、全部印象に残っていて全部特別な感じなんです。

「サンファームおなし」と協力隊の関わりはどのようでしたか。

小梨町地域の方々



自治会長 竹内輝義さん



自治会副会長 高橋初義さん



公民館長 高田博美さん



名水活性化協議会長 渡橋昭二郎さん



サンファームおなし理事 亀田尚樹さん



◀協力隊考案の野菜セット
(ふるさと納税返礼品)



▲キッズ野菜ソムリエの販売体験

亀田 私たちは農事組合法人として、農業生産の協業を図り生産性の向上・利益の増進を目的に活動しています。農繁期には田植えから稲刈り、法人の事務も手伝ってもらって非常に助かっています。そして我々高齢者ばかりの中で、若い人がいると華がありますね。

竹内 住民アンケートの中では、探訪案内看板や名水の水汲み場な

若い方ですので機転もよくきいて色々なアドバイスもしていただけて本当に助かっております。

高田 小学校が廃校になり、少子高齢化が進む中、地域おこしの大切な人材を送っていただけたと思います。公民館行事についても、

渡橋 まず、地域が明るくなったと思います。若い人が2人も増えたということは、いろんなことで大変助かっております。また、名

水の水汲み場の看板等の整備により、人や車の往来が増え、夏には子どもさんがサイクリングに来られまして、地域の賑わいが戻ったように感じます。



協力隊が来る前と来た後では、地域はどの様になりましたか。

彼女らが頑張っているからには仕事を一つ一つあげたいし、これからも意見を出して協力してもらいたいと思います。

高橋 私は彼女達の近所に住んでいるんですが、本当に明るくなったなと。それから稲作でも私にはない発想・考え方があって、これが成功すればまた新しい栽培方法が見つかるかもわからないと思っております。

望 最初からすごくいい印象です

竹原は、私にとって家のような場所です。産品もたくさんあり、竹原の食は竹原で賄える、そんな生命力のある魅力的なまちだと思います。

愛 アットホームというか暖かいまちだと感じます。皆さんにたくさんのお話を教えていただき成長させてもらいました。その恩返しというか、少しでも地域の力になれるよう、小梨にある加工所の再稼働等を行い、地域の産業振興のサポートを続けながら、今後もここで活動していきたいと思っています。

活動を通して、竹原はどのように映りましたか。

すごい勇気のあるお二人で、彼女は描いている構想を実現するために、いま一歩踏み出そうとしています。もちろん地域も全面的に支援していきますが、行政にもしっかりと応援してもらいたいと強く望みます。

た。町並み保存地区や海・山もあるし、魅力の詰まったところだなと感じています。地域やいろんな団体さんと関わらせていただき竹原市を多面的に見ることができました。



▲特産品加工所の再稼働に向けて

まだ未熟ではありますが、特産品の開発をこれからも続けたいなと思っておりますし、商品の新たな販路ということでネット販売を始めたいです。

本当にいろんなことを教えていただきサポートしてくださった皆さんのこの地域を、微力ながらも支えていける方法はなんだろうかと模索しながらこれからも頑張っていきたいなと思っています。

平成29年 第4回 定例会 こんなことが決まりました！

議案番号	議案名	議案の概要	付託委員会	委員会採決
議案第52号	土地改良事業計画の変更について	田万里町中田万里地区の圃場整備をするため施行する土地改良事業計画について、面積及び事業費を変更しようとするもの	民生	原案可決
議案第53号	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドの指定管理者の指定について	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドの指定管理者を指定しようとするもの	民生	原案可決
議案第54号	竹原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、職員の再度の育児休業等の取得要件に子待機児童となる場合を加えるとともに、非常勤職員について特に必要と認められる場合に2歳まで育児休業を取得することができるようにするもの。	総務	原案可決
議案第55号	平成29年度竹原市一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ6,717万円を増額補正するとともに債務負担行為を計上するもの	総務	原案可決
議案第56号	平成29年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ426万6千円を増額補正するもの	民生	原案可決
発議第29-4号	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの(意見書の内容は10ページに記載しています。)	省略	

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生都市建設委員会

常任委員会のようす

《総務文教委員会》

平成29年11月22日・29日の両日において、当委員会に付託された事件について慎重審査を行いました。

特に議案第54号の審査では、対象者への環境整備や制度の告知義務についての質疑がありました。理事者の答弁で施行の懸念がないことを確認した上、採決した結果、全会一致で原案可決となりました。

また、議案第55号も全会一致で原案可決いたしました。

委員長 山元 経穂

《民生都市建設委員会》

平成29年11月24日に第1回目の詳細にわたる集中審査を行い、第2回目は、平成29年11月30日に一括質疑、討論を経て、採決に至ったものです。議案52号については、

田万里町中田万里地区の圃場整備をするため施行する土地改良事業計画について、面積、事業費を変更するものであり全会一致をもって原案のとおり可決されました。

議案第53号は、バンブー総合公園の指定管理者を指定するものであり、白熱した質疑が展開され、評価点に対する質疑、修正案における評価加算の有無、分離発注について、スポーツ施設と共同事業体との公園管理の連携等の質疑があり、第2回一括質疑・討論を経て賛成多数により原案のとおり可決されました。

議案第56号については、平成30年4月施行の介護保険法改正及び介護報酬改定に伴い介護保険事務支援システムの改修を行う補助金の増額補正するもので



▲バンブー・ジョイ・ハイランド

あり、説明員の的確な説明により賛成多数により原案のとおり可決されました。
副委員長 竹橋 和彦

平成30年 第1回 臨時会 こんなことが決まりました！

議案番号	議案名	議案の概要	付託委員会	委員会採決
議案第1号	竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市教育委員会委員中 市川 義隆 委員は、平成 30 年 1 月 30 日をもって任期満了につき、その後任委員として引き続き同氏を任命しようとするもの	省略	
議案第2号	竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市公平委員会委員中 中田 稔 委員は、平成 30 年 1 月 30 日をもって任期満了につき、その後任委員として小田原 堤治氏を選任しようとするもの	省略	
議案第3号	竹原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市固定資産評価審査委員会委員中 新本 直登 委員は、平成 30 年 1 月 31 日をもって任期満了につき、その後任委員として下岡 従道氏を選任しようとするもの	省略	
議案第4号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 福光 多栄子 委員は、平成 30 年 3 月 31 日をもって任期満了につき、その後任委員として引き続き同氏を推薦しようとするもの	省略	
議案第5号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 塚原 きみ江 委員は、平成 30 年 3 月 31 日をもって任期満了につき、その後任委員として引き続き同氏を推薦しようとするもの	省略	

本会議における採決の結果

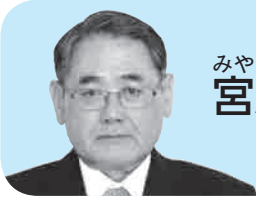
● 定例会

議員名 議案	今田 佳男	竹橋 和彦	山元 経穂	高重 洋介	堀越 賢二	川本 円	井上美津子	大川 弘雄	道法 知江	宮原 忠行	北元 豊	宇野 武則	松本 進	脇本 茂紀	採決の結果
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	原案可決
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	原案可決
発議第29-4号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	退	○	原案可決

● 臨時会

議員名 議案	今田 佳男	竹橋 和彦	山元 経穂	高重 洋介	堀越 賢二	川本 円	井上美津子	大川 弘雄	道法 知江	宮原 忠行	北元 豊	宇野 武則	松本 進	脇本 茂紀	採決の結果
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	原案同意
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	原案同意
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	原案同意
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	×	○	○	原案可決
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	原案可決

「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席になります。



みやはら ただゆき
宮原 忠行

●竹原市公共施設総合管理計画について



質問 公共施設の利用者である竹原市民の総人口や年代別人口について竹原市公共施設管理計画では、どのような見通しを立てられているのか伺いたします。

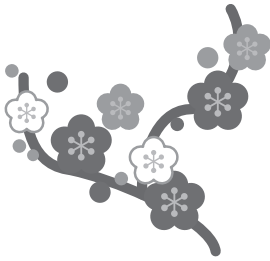
答弁 市長 公共施設等総合管理計画における本市の総人口などの見通しにつきましては、平成27年度に策定した「竹原市人口ビジョン」の推計から引用しており、その状況については昭和55年の36,895人をピークとして年々減少が続くことによつて、平成57年には18,398人まで減少することを見込んでおります。この期間における年齢階層別人口につきましては、14歳以下の人口は8,584人から2,540人と約3分の1に減少する一方で、65歳以上の人口は増加を続けたのちに減少傾向になると予測しており、最終的には昭和55年の約1.5倍以上の人数となり、総人口に占める割合も12.8%から39.6%と大きく膨らむものと見込んでおります。

質問 全ての公共建築物を耐用年数により更新するとした場合、今後40年間の総

費用はいくらで、年間当たりの必要額はいくらになるか。

答弁 市長 公共建築物の大分類ごとに耐用年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定し、延べ床面積等の数量に更新単価を乗じること更新費用が試算できる総務省のシミュレーションソフトを活用して算出した結果、今後40年間で総費用は796億5千万円となり、1年間では19億9千万円が必要になると見込んでおります。

公共土木施設につきましても同様のシミュレーションソフトで、道路、橋りょう、上水道施設、下水道施設それぞれで試算した結果、今後40年間で総費用は合計で543億6千万円となり、1年間では13億5千万円が必要になると見込んでおります。



かわもと まどか
川本 円

●学力・学習状況調査から見た竹原市教育行政と課題について



質問 中学校において、国語A・B数学A・Bの全てにおいて、全国平均・県平均を下回り県下の中でも、かなり低い水準という結果となりました。教育委員会は、どの様に受け止め、どのような対応をされるのか伺います。

又、基本方針の一つでもある「確かな学力の向上」について、予算措置を含めた具体的な取組と、今後の竹原市における教育の方向性を伺います。

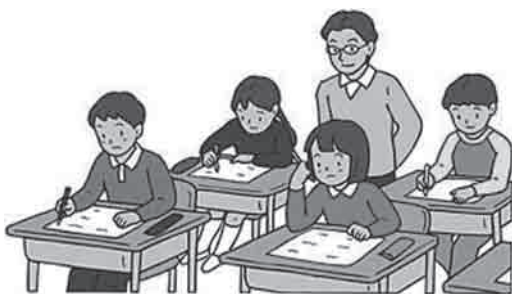
答弁 教育長 教育委員会としても、この結果を重く受け止めております。この調査につきましても、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、学力や学習状況の把握・分析すること、課題を検証し児童生徒への指導方法の改善・充実を図ることが大きな目的となっており、明らかになった課題をもとに授業改善を図っているところであります。

又、課題のあった学校を重点的に指導・支援しており、学力向上の取組についての進捗状況を定期的に校長へヒヤリングを行ったり、

学校訪問を通して授業改善に向けて取組を進めております。

「確かな学力の向上」につきましても、教科の授業力を向上させるための研修や教員の人材育成を目的とした研修の実施、イングリッシュキャンプや独自の英語検定などの予算措置を含め進めているところであります。

今後におきましても、竹原で学んでよかったと思える児童生徒を育てるため、鋭意取り組んでまいりたいと考えております。





まつもと
松本

すすむ
進

●市公共事業の適正な契約と入札制度の改善を
●生活を脅かす国保税の負担軽減を



質問 ①適正な予定価格に対する請負金額の落札率が75%台は、市内業者の経営に深刻な影響をあたえます。最低制限価格を90%台に見直すこと、低入札価格調査の導入、公契約条例を竹原市でも制定すべきです。
②市斎場新契約の月額委託料41万4000円の労務費積算単価と職員配置数、市内業者の仕事確保と育成は。

答弁 市長 ①業者の採算性も配慮したうえで落札下限価格を設定しています。多くの自治体が低入札価格調査は採用していません。公契約条例は労働者に支払う賃金の額等に条例で強い規制をかけ、使用者の経営の自由度をより制限することになると認識しています。
②人件費(2名分)は基本賃金510万円と法定福利費90万円。施設管理費115万円の設計金額年額715万円、月額月額59万6千円です。落札価格は月額41万4000円ですが仕様書に基づき適正に業務が遂行できることを確認しています。

質問 ①竹原市・2016年度決算の国保税滞納者は667世帯、加入者の15.8%。所得状況は83.5%が年間所得200万円以下の働く貧困層です。
来々年4月、国保の財政運営が広島県へ移行されるが、国保加入の所得水準が低い・医療費水準が高い構造的な問題の解決、大幅な国保税軽減はできますか。
②竹原市の国保税は生活を脅かす重税です。40才夫婦・15才子ども3人家族で年収311万円余の国保税は37万9,400円(年収比12.2%)で可処分所得の月額と生活保護費の差額は2,757円しかありません。市独自の国保税負担軽減の拡充が必要ですか。

答弁 市長 ①国保制度改正は安定化・持続可能な制度の構築を目的とするものです。
②国保税は、受益者負担の原則から所得のない人も課税対象となります。納付困難なケースについては、納税相談や生活保護の適用など、生存権の保障は適切に行われているものと考えます。

議会のうごき

- | | | | | |
|--------|------------------------|------|--------|--------------------------------|
| 11月 6日 | 市町村アカデミー研修
(~11月7日) | 議員派遣 | 12月16日 | 広島県中央環境衛生組合議会
全員協議会 |
| 11月 9日 | 民生都市建設委員会
(所管事務調査) | | 12月25日 | 議員派遣報告会 |
| 11月10日 | 総務文教委員会(所管事務調査) | | 12月27日 | 広島県中央環境衛生組合議会
定例会 |
| 11月14日 | 福岡県春日市議会 来市 | | 1月18日 | 議会運営委員会(会期前) |
| 11月15日 | 議会運営委員会(会期前) | | 1月22日 | 三重県名張市議会 来市 |
| 11月17日 | 公共施設ゾーン調査特別委員会 | | 1月23日 | 第1回臨時議会 |
| 11月21日 | 第4回定例議会(~12月4日) | | 1月24日 | 大分県中津市議会 来市 |
| 11月22日 | 第1回総務文教委員会(会期中) | | 1月25日 | 広島県中央環境衛生組合議会
先進地視察(~1月26日) |
| 11月24日 | 第1回民生都市建設委員会
(会期中) | | 1月26日 | 議会運営委員会(申入れ後) |
| 11月27日 | 本会議 一般質問
代表者会議 | | 1月29日 | 全員協議会
公共施設ゾーン調査特別委員会 |
| 11月29日 | 第2回総務文教委員会(会期中) | | 1月30日 | 総務文教委員会 |
| 11月30日 | 第2回民生都市建設委員会
(会期中) | | 1月31日 | 茨城県つくば市議会 来市
民生都市建設委員会 |
| 12月 1日 | 議会運営委員会(会期中) | | 2月 2日 | 代表者会議 |
| 12月 4日 | 本会議 | | | |
| 12月 5日 | 代表者会議 | | | |

※この間、議会だより編集委員会は7回開催しました。

進地に学ぶ

総務文教常任委員会 (10月11日～13日)

外人観光客の 誘客促進について

東京都墨田区

近年、本市でも「ラビットアイランド」として知られている大久野島を中心に外国人観光客が増加していますが、同区も本市同様インバウンド（外国人誘客）政策に力を注いでいます。その施策の特徴としては、訪れてよい『国際観光都市すみだ』を掲げ、外国人観光案内所及び業務の充実・物販・飲食店事業の免税店制度等を実施しています。

今後とも、本市の観光の在り方として国内外の観光客に満足して頂ける施策を模索していきたいと思えます。



外国人観光客向けパンフレット

川越市歴史的風致維持 持向上計画策定後の 取組について

埼玉県川越市

同市は、江戸く大正期を通して形成された街並みを中心に観光客の誘致に成功しており、その数は年間約700万人を数えます（平成28年）。最初に、同市役所で質疑を行った後、街並みの視察を行いました。町並みは、行政と住民の協力により非常に景観に配慮されたものであり、また、各々は商家として現在も営みを持ち、「商業圏」として成立しているのが興味を引く所でありました。

本市の町並みとは「かたち」の違いはあれど観光施策の充実を目指す上で、貴重な視察研修でありました。



▲耐震化されたシンボルの時計台

自治体シンクタンク に係る取組について

埼玉県三芳町

自治体シンクタンクとは、行政組織の補助機関として、自治体の課題に取り組むものです。

同町での特徴は町民だけでなく他市町からの市町民も参加が可能とされている所であり、「住民」も交えて町の課題、あり方について議論しています。加えて、議会の慢性化の回避、重点目標の設定、長期的展望に立った課題対応等への取組みは今後、本市の行政施策、課題を思考する上でも一考に値する有意義な研修でした。

防災・減災について

気象庁

我が国の気象・地震・津波・火山等の中心監視機関としての設備に圧倒されました。ただ、どの様な最新機器を導入しても、最後は経験豊富な職員の判断が欠かせないという話は、非常に印象的でした。

いつ発生するか分からない災害に対して、改めて防災意識を高める良い機会となりました。

民生都市建設常任委員会

(10月25日～27日)

行政視察報告

先

未利用公有地における官民複合開発について

〓岩手県紫波町〓

紫波町では、10年以上使われることなく遊休地となっていた10・7haの町有地を補助金に頼らない公民連携(PPP)の手法により開発を進められており、全国から注目を集めています。

この敷地一帯には、役場庁舎のほか、ホテルやバレーボール専用体育館、各種テナントが入居する民間複合施設「オガールベース」、図書館や情報交流館などの公共施設と、カフェ、直産マルシェ、医療機関などの民間施設が入居する官民複合施設「オガールプラザ」などの施設が整備され、年間80万人が訪れるようになっていきます。

プロジェクトは、紫波町が2009年に職員の手で策定した「紫波町公民連携基本計画」に基づいて進められ、まずテナントを固めてから建物規模や建築費用を算出し、入居率100パーセントでのスタートとコストカットを実現しています。

それぞれの施設は特別目的会社が建設し、費用は銀行や政府系金融機関からの資金調達で賄い、公共施設部分は紫波町に売却、テナント収入や独自事業による運営で、補助金に頼らない町づくりを進めていると説明を受けました。

このプロジェクトは今年度で開発を終えて管理運営の年に入ろうとしており、いよいよ真価が問われるステージにきたということで、今後の町づくりに向けての強い意気込みを感じました。



▲オガールプラザの現地調査

公共施設更新問題への取組について

〓神奈川県秦野市〓

高度成長期に一斉に建設された公共施設は一斉に更新時期が訪れます。

人口減少や超高齢化が進み財政状況が悪化する中で、これら全ての公共施設を維持することは不可能であり、現状のままでは必要性の高い公共施設まで良好な状態を保てなくなる恐れがあるという危機感の下、秦野市では将来の市民に負担を残さないため「公共施設再配置計画」を定め、原則として新規の公共施設は建設しない、公共施設に優先度を設定し、削減の数値目標を定めるなどの方針を掲げ、計画を推進しています。

更新問題は何故起こるのか、秦野市と本市の比較、現状分析のための施設白書づくり、そして、問題解決のための方針と計画の策定など、大変解りやすい説明を受けました。

公共施設の更新問題は秦野市だけが特殊事情にあるわけではなく、全国の自治体が同じような状況にあります。

そして、今の自分たちの便利さや豊かさだけを求めてこの問題を先送りすることは、次世代に大きな負担を押し付けることになることとなります。「住民の高齢化を止めることは誰にもできません。しかし、更新問題が起きることは止めることができず。」最後の説明は衝撃でした。

本市においても、公共施設等総合管理計画に基づく「白書」や「行動計画」、現在策定中の「立地適正化計画」など、まちづくりに関する様々な政策が進められているところですが、この研修で学んだことを糧に、本市における公共施設のあり方について考えていきたいと思えます。



▲名物課長による熱い説明

意見書**12月定例会 民生都市建設委員会提出
出席議員全員賛成により可決し、国・政府へ提出しました。****道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書**

道路は、地域の発展や経済社会活動を支えるとともに、災害時には住民の命を守るライフラインとして機能するなど、生活に欠かせない最も重要な社会基盤の一つである。

現在、道路事業においては、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下「道路財特法」という。）の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率等が嵩上げ（50%を55%等に嵩上げ）されており、この嵩上げ規定が平成29年度までの時限措置となっている。地方創生を推進する地方自治体にとって、この時期に道路財特法の規定による補助率等が低減することは、死活問題である。よって、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備の推進により地方創生が推進され、地域の活性化が図られるよう道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も現行制度を継続することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

公共施設ゾーン調査特別委員会 平成29年11月17日開催**●（仮称）まちおこしセンターの整備について**

（仮称）まちおこしセンターの整備については、現在の福祉会館及び竹原書院図書館を解体撤去し、その敷地に産業振興及び雇用促進の拠点となる施設を新たに整備し、その施設の一部を商工会議所に賃貸する。

●今年度の主な取組について

今年度の主な取組については、（仮称）まちおこしセンターの配置スペース及び賃貸料について商工会議所と協議する。竹原書院図書館の仮移転先となるフジの事業者との賃貸借契約締結後、空き店舗スペースの改修を行い、その後移転し4月3日の開業に向け準備する。旧法務局竹原市局の改修について補正予算を組み改修工事に着手する。

●新年度の主な取組について

勤労青少年ホーム3階の改修等を行い、福祉会館に配置している機能を平成30年秋頃までに移転できるようにする。移転後福祉会館の解体撤去を行い、（仮称）まちおこしセンターの整備に着手する。たけはら合同ビルの区分所有者である広島県及び商工会議所と売買契約の締結に向けた協議を行い、最終的な取得時期については合意形成をはかる。町並み保存地区の魅力がより高まるよう「たけはら美術館」の具体的な機能配置方法を検討する。

◎皆さんの声をお寄せください

いよいよ公共施設ゾーンの計画が動き始めるわけですが、市民の期待や希望がかなうように委員会での議論を充実させてまいりたいと思います。

委員長 脇本 茂紀

議員派遣として研修に参加

平成29年11月6日～7日、滋賀県大津市の国際文化アカデミーにて「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」をテーマに北元豊議員と研修を受けました。5名の講師による講義はそれぞれ特徴があり、大きく捉えたものや事例を交えたより実践的なもの、全国から集まった130名の市町村議員によるテーブルディスカッションなど非常に充実した内容でした。

自治体の規模によって問題点やその解決法は違いますが、自らの自治体に落とし込んでいく中で他自治体の意見や実情を聞くことは非常に有意義な経験となりました。

今回の講義や研修で特に感じたことは「議員」として個人の活動も大切ではあるが、議会改革や住みよいまちづくりの為に「議会」として考え行動していくことが「開かれた議会」すなわち市民目線にたった市民に理解される「竹原市議会」に繋がる重要なことだと再認識でき、大変有意義な議員派遣でした。先例や申し合わせに縛られるのではなく、住民の福祉向上のために今回学んだことを実践してまいります。

堀越 賢二

「たけはら市民と議会」のアンケート

①年 齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
 ②性 別 男性 女性
 ③お住まいの地域 例：中央5丁目、下野町

④ 市議会に関する情報をどのようにお知りになつていますが。(複数回答可)

- 1) 議会だより「たけはら市民と議会」
- 2) 新聞など
- 3) 市議会のホームページ
- 4) タネット中継
- 5) インターネット配信 (youtubeなど)
- 6) 市議会の傍聴

⑤ 「たけはら市民と議会」(議会だより) をどの頻度で読んでいますか。

- 1) 毎号読んでいます
- 2) とときどき読んでいます
- 3) 見たことはあるがほとんど読まない

⑥ 内容はわかりやすいと思いませんか。

- 1) わかりやすい
- 2) どちらかといえばわかりやすい
- 3) どちらかといえばわかりにくい
- 4) わかりにくい
- 5) 内容をじっくり読んでいないので分からない

⑦ どのような記事に興味を持ちますか。(複数回答可)

- 1) 議案の内容、採決の結果
- 2) 本会議における一般質問の質問と答弁
- 3) 常任委員会など、各委員会の活動
- 4) 特集記事 (市民のみなさんへのインタビューなど)
- 5) その他 ()

⑧ 読みやすくするために、変更したい点があれば教えてください。(複数回答可)

- 1) 文字を大きく
- 2) 文章をわかりやすく
- 3) 短時間で読めるボリュームに
- 4) 写真やイラストを多く
- 5) その他 ()

⑨ 議会だより、議会の活動全般についてご感想がございましたらお聞かせください。

アンケート 中間報告

前号で実施しましたアンケートにご協力頂きありがとうございました。

りになって、「議会だより」の設問には、「協議をお願いしますか」の設問に、

竹原高校、忠海高校の生徒さんをはじめ、現在までに274通の回答をいただきました。

「Q1 市議会に関する情報をどのようにお知りになつていますか」の結果報告を予定しております。「Q1 市議会に関する情報をどのようにお知りになつていますか」の設問には「見たことあるがほとんど読まない」との回答が半数以上であり、重要なツールであると共に紙面の改善が必要であることがわかりました。



今田 健男

注目されはじめた「市民と議会」

平成30年1月24日(水)大分県中津市議会広報広聴委員会の皆さんをお迎えし、議会だより編集委員会として行政視察を受けました。

一年前から掲載を始めた「特集」や、その中から頂いた意見としての「市民の声」の採用等、議員自らが携わっている編集作業や取材活動についての質問等に、注意すべき点など現場の声を率直にお答えいたしました。

特集の対象の選定方法や本会議での討論の掲載の仕方、一般質問の原稿のあり方、アンケート等について様々な質問があり活発な意見交換をする中で、我々も参考になるお話も伺うことができました。非常に有意義なものでした。



今回の視察が実現したことは、当編集委員会が3年3ヶ月試行錯誤しながら行ってきた取組が目ざされてきたものと思っております。

今後も、前号でお願いをしたアンケート調査の結果を参考にし、市民の



▲大分県中津市議会広報広聴委員会の皆さんと

皆さまの声を取り入れた、より読みやすい紙面の提供や情報発信の充実をしながら、新たな取組として議会だよりを基にした座談会などの実施をして参りたいと考えております。

委員長 井上美津子

「おなし名水」とは？

- 天然水
- 湧水量は毎分14ℓ
- 旧「厚生省おいしい水の要件」に合致したきれいでおいしい水



▶とても美味しいおなし名水



…「地域おこし協力隊」の取材を通じて…

取材後記

取材の後、「おなし名水」に立ち寄りました。小梨の人々に昔から利用され、病を癒したという伝説もある湧き水で、現在は水汲み場として整備されています。

この整備は、小梨地区協働のまちづくりネットワークと「おなし名水」活性化協議会が中心となって取り組み、今回取材させていただいた協力隊の方々を含む延べ二百人の協力を得て完成したそうです。

水汲み場ができたことにより、県内外から多くの方が訪れるようになり、賑わいが生まれ、小梨町のPRとなり、今後は産業振興にも繋げて行きたいと取材の際にお聞きしました。この名水を、是非ともたくさんの皆さんに味わって頂きたいです。

担当委員 川本 円

ちょっと注目！

読んでいただける紙面づくりを進める中で、特集ページや議案に対する反対・賛成討論の記載、採決の結果の掲載、写真の多用などを行ってきました。

お気づきでないかもしれませんが、今号から字体を明朝体からゴシック体に変更し、また一般質問部分では簡単に動画サイトにアクセスできるマークを付けたつもりです。文字の詰め込みではなく内容の詰め込みで充実したものにと考えています。

前号ではアンケートの実施もさせていただきまして、今後はそれらを生かし「あっこれ私が提案したものだ」との声が聞けるような紙面づくりをしてみたいです。

堀越 賢一

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP 竹原市議会



次回定例市議会は、2月下旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

平成も30年となり、昭和を遠くに感じています。今年も「成人式」が行われました。

新しく成人になられた方は257名。8名の実行委員会のみなさんが企画された、保護者、恩師、協力いただいたみなさんへの感謝の気持ちがかもった素晴らしい式でした。

今年のアトラクションでは、恒例の中学校の先生のビデオレターに続き、年齢が近い竹原高校出身の石川真帆さんが歌声とともに新成人のみなさんへエールを送ってくれました。

「風光に恵まれ、文教のまちとして伝統を誇る竹原市」の将来を担う若いみなさんが、夢に向かって前進する一年となるように願っております。

今田 佳男



【編集委員】◎委員長◎事務局長

- ◎井上美津子 ◎堀越 賢二
- 今田 佳男 竹橋 和彦
- 川本 円 大川 弘雄